

ミステリー!? 消えた1円

月報委員会
委員長 名倉直利
第6班

ある日の飲み会後の話

友人三人、早めに終わった飲み会、何となく帰る時間には早い　そこで宅飲みするか、となった

その時、一人がケーキ食いたい！と言い出した

飲んだ後にケーキ？誰かこいつの味覚どうにかしてくれ

そう思ったが、言うのも野暮、コンビニで買うことに



図1

友人宅で袋から開けると図1のようなホールケーキが出てきた。実際にはかなり小さいがシンプルにイチゴが乗っている

ちなみに値段は1000円(税込)だった

それを友人が三等分する　適当で構わないが120度でナイフを入れると3等分できる計算

私たちは雑談をしながらそれを食べた、結局、お前も食べるんだな、とか言うな

食べた以上、お金は払うわけだが確か1000円

えっと、一人333円？違うな、334円？他に酒やつまみも色々買ってあったのでその時は適当に出し合った

ただ、ふと過ぎった違和感

あれ？なんか変

なんだ、この違和感??

楽しい時間はあっという間で自宅に着いて風呂に入る

そして頭に浮かんだあの時の違和感、すぐに正体が判明する

そっか、あのケーキって正確には333.333...円なんだよな、なんだけどケーキを120度で分けるとピッタリ3等分できるんだけど？

どういうこと？汗

数字では割り切れないが、角度では割り切れる

違和感はここだった

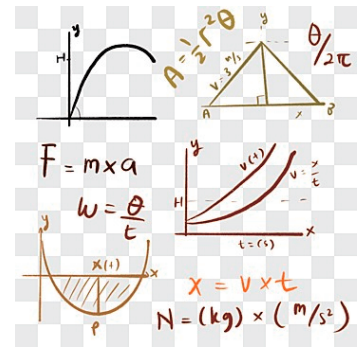
$360\text{度} \div 3\text{人} = 120\text{度}$

$1000\text{円} \div 3\text{人} = 333.33333\cdots$

あれ？ 1円分のケーキどこいった？

そんな細かい事を気にしないで大人になれよ！って話でもない

かなり気持ちが悪い



数学の世界

数日モヤモヤしてたので調べてみた

するとすぐに判明

なんと数学の世界では $0.9999\cdots = 1$ は常識だと書いてある

な、なんで？

私には難しすぎるので詳しい説明はしないが割と簡単に証明できるらしい

まあ凡人には、へー常識なんだ とはならないけどさ

もしケーキ屋で「 $0.99999\cdots = 1$ なので999円で売ってください」と言ったら出禁になるかもね、ケーキ屋で出禁って斬新だな

そもそも数学的に証明できても1円が宙に浮くではないか！

という余計なことを考えてモヤモヤが増すという結果になりましたとさ。

話は変わって

私が月報委員会に任命されて数年が経ちました

毎号みんな文書や絵、川柳、上手！とか思っていたら、

なんと委員長になってしまいました汗

このようなふざけた駄文しか書けない私で大丈夫かしら？？

ただ任命された以上、2年間頑張ってやりたいと思います

そこで繰り返しのアナウンスにはなりますが

ご存じの通りこの月報は皆さまの寄稿によって支えられております

趣味、体験記、お気に入りの店や旅行記は元より

些細なこだわりなどが詰まった、ねえこれ聞いて一の寄稿を、ぜひともお待ちしております

ここ最近では特に**病気の話**などは人気ですね

お心当たりのある方は開き直ってドシドシ寄稿してください笑

今後ともよろしくお願いいたします。